平成30年 10月

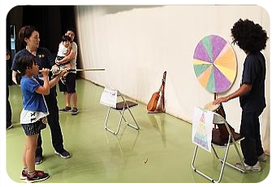
医療法人社団 誠和会 Hasegawa-HP 広報

地域支援活動をバックアップしています！

やちまたふくしフェスタ２０１８では・・・

障がいのある方もない方も、暮らしやすい地域づくりを目的として開催された『やちまたふくしフェスタ2018』に、当院のリハビリスタッフ5名が参加をさせていただきました。
会場では、車いすバスケなど障がい者の立場で体験できたり、カーリングや手作り体験など、おとなと子どもが一緒に楽しく体験できるものが用意されていました。
当院でも、多くの方が楽しめる遊びをと考え、はずれなしの景品を用意した“吹き矢ゲーム”を行いました。ゲームに参加された方の中には、何度もチャレンジする方も出るほどの好評ぶりでした。

▲元気いっぱいの当院リハビリスタッフ5名



▲おとなも子どもと一緒に楽しめて、誰もができる『吹き矢ゲーム』は大好評でした

▲車いすバスケを体験

認知症の人にやさしい地域づくりにも協力しています！

ＲＵＮ伴（ランとも）２０１８では・・・

認知症の人にやさしい地域・社会づくりを推進するために開催された『RUN伴2018』に当院スタッフ4名が参加をしました。
RUN伴（ランとも）とは、地域の方と認知症の方や家族、医療福祉関係者が一緒にタスキをつなぎ、日本全国を縦断するイベントです。八街市からもたくさんの方が参加をされました。
イベント当日は晴天に恵まれ、楽しく走ることができました。
当院スタッフは開始前の準備体操も任され、派手なコスチュームでイベント開始から最後まで元気いっぱいに参加者を応援しました。

▲『RUN伴2018』への参加者

▲準備体操は当院スタッフの掛け声で元気に楽しく

▲タスキをつなぐ

▲スタッフ4名が参加

▲元気に声援

長谷川病院の敬老会を開催しました！

歌にクイズに趣向をこらした“敬老会”

敬老の日に際し、『敬老会』を開催いたしました。
集団でのリハビリ体操からはじまり、敬老の日にちなんだクイズの出題、カラオケに楽器演奏と趣向をこらした内容で楽しんでいただきました。
スタッフによるクイズの出題で脳を使ったあとは、患者さまによる、のど自慢の歌や楽器演奏に思わず聞き入ってしまうなど、飽きのこない“敬老会”となりました。

▲クイズで脳を活性化

▲得意の歌で、のど自慢

▲演奏を披露

▲スタッフと一緒のウクレレ演奏に熱が入りました

祝賀会では『障害者雇用』について講演！

▲当院副院長の菊池と料理長の杉村がシンポジストを務めました

▲杉村料理長（右）と笑顔でVサインの塾生

「社会福祉法人光明会」が主催する『就職祝賀会』が開催され、障害者雇用を推進する企業を代表し、シンポジストとして当院から副院長の菊池と料理長の杉村が出席をいたしました。
当院では現在、障害者5名を調理補助者として雇用しております。今回そのうちの2名も参加いたしました。
また、当院の副院長である菊池が企業を代表して講演を行いました。講演では、『長谷川病院における障害者雇用』についてお話をさせていただきました。中でも「やり甲斐や働き甲斐」を与えることで、職場での戦力となり得ることも、当院で雇用する彼らの様子をご覧いただき、十分にお伝えできたのではないかと思います。
障害者雇用における就職継続支援の協力により、今年も感謝状をいただきました。
これを励みとし、地域になくてはならない病院づくりに努めて参ります。

▲企業を代表し、副院長の菊池が講演を行いました

◇ 入院、転院のご相談は、下記までお気軽にお問合わせください。

医療法人社団 誠和会 長谷川病院
＜地域連携部（MSW）；渡邊、山本＞
電話：043（444）0137　FAX：043（444）0257
ホームページ ⇒ http://www.hp-hasegawa.or.jp/wp/

＜空床情報＞
回復期病棟（4床）
療養病棟（0床）
※10／3 現在
ホームページでご確認ください